

菜種

なたね

編集と発行
北栄町農業委員会
北栄町土下112(北条庁舎)
TEL(0858)36-5567



飛躍・未来 試練乗り越え 滋味一房

農事暦によれば、「^{ひのととり}丁酉」（平成29年）は「南に五横で北に六白星が廻り、天地間に凶星が同座する（暴風雨など自然災害が多い）」とある。今冬の記録的豪雪は農業施設、ハウスを中心に甚大な被害をもたらした。お見舞いと共に一日も早い復旧を願うが相当の気力と資力が必要である。こんな時ほど行政、組織、地域の支援が大きな力になると思う。

北栄町は大栄にスイカ、北条にブドウが大きな基幹品目である。しかし、近年北条ブドウをもっと盛り上げなければという声をよく聞く。そこで生産者、先輩にお叱

りを受けることを覚悟で少し考えてみたい。ブドウ生産部が目指すべき方向を示すことがまず重要であり、方向の具体的視点は次の3点である。①生産者の意識を変える。(目標の設定、生産意欲の喚起など) ②組織の体質を変える。(組織の利点を確認、組織販売、指導の魅力を引き出すなど) ③販売戦略の組み直し。(品種の整理、市場の整理、パッケージなどの改良、新商品の開発、提供など)。今何をすべきか、自分に何が出来るか、みんなで話し合うことが第一歩であると思う。

「鳥取県ぶどう沿革史」に林

真二先生は「やるべきことやらずにいるんな人たちが混在する限り砂丘ぶどうに安定（した未来）はない。理論、常識が率直に受け入れられ、砂丘という実態に応じたぶどう栽培の基本的考え方を確立すべきだ。」と説かれている。古い産地を動かすことの難しさを物語る一文である。

今こそ、「産地力」が試されている。豪雪に負けることなく北条砂丘ぶどうの飛躍を願うのは町民の共通の願いでもある。

(取材：濱坂 良男)

もくじ

2. 輝く農業女子を紹介します

米澤幹枝さん・門脇友美さん
農業女子 研修会を盛り上げる

3. 第7回 北栄アグリフォーラムを開催 農業委員活動

4. 空き農地情報バンク

Q&A
知ってる？ 農業者年金のメリット
ホットたいむ

～元始、女性は太陽だった～輝く「農業女子」をご紹介します

近年「〇〇女子」という名称をよく耳にします。農業も例外ではありません。

農林水産省では「農業女子プロジェクト」を立ち上げ、全国各地で農業をする女子がメンバーに登録し、女性からの視点を活かした活動をしています。今回は、その農業女子プロジェクトのメンバーでもある米澤さんと、JA女性大学「ルミナール」で活躍しておられる門脇さんを紹介합니다。

スイカ ブロccoliー 西洋野菜を栽培

農業女子プロジェクトメンバー 妻波 米澤 幹枝さん



「5年前、父を手伝ってスイカを育て、日々大きくなる姿にすっかり魅せられた」と話す米澤さんは、すぐに農家になることを決め、農業大学の1年研修に行ったという行動派です。基礎を学んだことが自信に繋がって、スイカとブロッコ

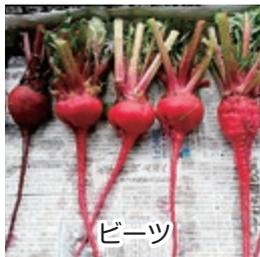
リーと西洋野菜を、一人で栽培しておられます。アパレルの仕事の経験を活かし、「自分らしさが出る野菜を育てたい」と始めたカラフルな西洋野菜。種はインターネットで取り寄せ、60～70品種を栽培しています。その野菜の評判は口コミで

広がり、7軒ものカフェで使われる人気ぶりです。今年はハウスを2棟建て、スイカ栽培へも意欲が感じられます。女子力が高くてパワフル！お勤めの夫の支えがあり、気持ちのゆとりを生みだしているそうです。

取材：杉川 一二美



紫水菜



ビーツ



ロマネスコ・レッドキャベツ



ワサビリーフ・スイスチャード



黄色人参

今は子育て 夢は農業ブドウ作り

JA女性大学「ルミナール」受講生 門脇 友美さん



ブドウ農家に嫁いで今年で10年。子どもたちは、畑が大好きで農業とふれ合える環境で子育て出来ることを嬉しく思っています。ブドウ作りを頑張ってくれている義

父母はもちろん、農家の方々全員に、感謝の気持ちでいっぱいです。

最近、ブドウ畑も少なくなってきたなあと感じることもありますが、将来農業が活性化していく

為には、若い人の力も必要だと思ひます。私たち夫婦も、ブドウ作りを引き継いでいくつもりですが、今後農業をやりたいと思ってくれる人が増えることを願っています。

農業女子 研修会を盛り上げる

農業委員会内に設けられている「農政委員会」では、青年農業者研修を行っています。

これは、町内の概ね40歳までの農業者が、交流や研修を通してつながっていくことで、今後の農業

発展を期待するものです。女性も多く参加しておられます。



第7回 北栄アグリフォーラム開催

テーマ「これがわたしの生きる道」

農産物・加工品の
とっておきの
話を熱弁



当日は暴風雪警報が発表される荒天の中187人の参加がありました。1月14日 大栄農村環境改善センターにて
開演前にはロビーにおいて加工グループによる加工品の販売が行われ盛況でした。発表終了後には「お楽しみ抽選会」として16の農産物・加工品が当たる抽選会が行われ大変盛り上がりしました。



スイカ 杉川将登さん
GIマークの取得により、
大栄スイカブランドのより一層の向上を



ラッキョウ 浜田三喜男さん
「白い鳥取ラッキョウ」を
キャッチコピーに全国ブランドに



ブドウ 岡本重光さん
シャインマスカットの拡大により
香港に販路を



牛 山根孝幸さん
全共上位入賞とクラスター
事業利用による増頭で組織に活力を



中玉トマト 村岡高志さん
「ナンチューうまいトマト」で
消費拡大を



梨 生橋 巧さん
新甘泉と台湾輸出用穂木の
普及による町づくりを



干し柿 田村幹雄さん
上手に干し柿を作るには
手間暇を惜しむな



ワイン 今村憲治さん
北栄町産ブドウ100%の
ワイン増産拡大を



加工グループ代表 竹信啓子さん
北栄町産農産物を利用した
加工品を紹介

農業委員活動



2月2日
青年農業者研修会
於グリーン大栄
鳥取大学田村教授の講演



2月21日 営農状況調査
ドリーム農場 (いちご)
エナテクスファーム (キリンソウ)
フジオファーム (野菜)



2月23日
特別研修大会
於カウベルホール
県内全ての農業委員の研修

空き農地情報バンク

売買、貸借に至らなかった農地について、買い手・借り手を探しています。詳細は、「空き農地情報バンク」として農業委員会（北条庁舎）、町ホームページで閲覧できます。

※買い手・借り手の方については、耕作面積等、農家要件が必要です。

※下記は、掲載を希望された方の情報です。

《売りたい・貸したい》

No.	農地の所在	地目	面積(a)
1	江北石ノ坪 4900 (売買)	田	13
2	江北下荒針 4492 (売買)	田	12
3	江北中馬場谷 3957 (賃貸)	畑	21
4	下神西灘山 1219-1 (売買・貸借)	畑	10
5	国坂東沖小野 2665-1 (売買・貸借)	畑	34
6	国坂坪浜 2819-1 (売買・貸借)	畑	19
7	大谷池尻 3362 (貸借)	畑	6
8	大谷池尻 3363 (貸借)	畑	21

知ってる？ 農業者年金のメリット

若い人にとって「年金」は、まだ先のように感じますが、30代のアンケートの結果1位は、「もっと早く加入しておけばよかった!」。理由は、**農業者年金は全額、社会保険料控除の対象になり節税できるから**。詳しくは農業委員会へお問い合わせください。

編集後記

夢と希望のある儲かる農家を目指していく者にとって昨年の地震に続いて今回の大雪はとて大きなダメージでした。あらためて被害にあわれた農家の方々にお見舞い申し上げます。このような災害というか自然現象がいつやってくるかわからない状況が今後も来るかと思うと、ある程度の貯えがないと老後破産の危機に見舞われてしまうことが痛感させられた今日です。

そうした意味でも自分の老後を守る体制を若いころより整備しておく必要があり、専業農家にとって補助のある農業者年金や自己防衛の確定拠出年金などは検討課題の一つだと言えます。

そのまえに自分の体が健康であり病氣しないことが第一で

広報委員／盛山 由紀子・森本 壮一・東地 重義・濱坂 良男・生橋 巧・竹信 啓子・杉川 一二美

Q & A アグリスタート研修ってなあに？

Q：鳥取県農業農村担い手育成機構のアグリスタート研修とはどんな研修ですか。

A：鳥取県では県立農業大学校や各市町村と連携しながら新規就農を促進しています。研修は独立自営の経営者の育成を目的としています。研修期間は原則2月から1年間です。研修中は約12万円の給与と諸手当が支給されます。研修は受け入れ農家での実践作業が中心となります。研修後半には普及所やJAと連携して5年間の就農計画を策定し市町村長の認定を受け、就農の準備を進め、公的機関からの支援を可能とします。

研修後、就農計画を市町村長が認定すると各種補助事業と毎年150万円の就農給付金が支給されます。(45歳以下5年間。45歳以上はその他の支援。)北栄町内にもこの研修により就農された方がいらっしゃいますよ。

お問合せ

鳥取県農業農村担い手育成機構
☎0857-26-8349



ホットたいむ



現場で見つけたゲンゴロウにまさかの背番号！
89に見えるけど…？
ソフトバンクホークス王貞治名誉監督の背番号、永久欠番だ！

場所：大栄浄化センター内

あります。

そのための第一歩として、ある人の言葉を借りれば「一日一読、一日十笑、一日百呼吸、一日千字、一日万歩」を実行して行きましょう。

それには何といても人とのコミュニケーションや仲間作りが大切です。今回の大雪でも多くの方が近所あるいは仲間の協力を助けられたのではないのでしょうか。今年も元気で頑張りましょう。

今はTPP (とつてもピンピン)、行く先々はPPK (ピンピンころり)、もしくはBBK (ポチポチころり) を目指し家族らにやっかいをかけないで生きていきたいものだ。

次号は7月発行予定です。 (白髪おじさん)